

## 水道料金について

質 問 内 容	回 答 内 容
<p><b>工業誘致の優遇税制などは5年、10年と期限を区切るが、水道料金には期限がない。10年で設定した契約をした場合、10年経つと再度更新するかどうか判断することが普通ではないか。最初に設定したときが問題であって、市民が知らないからそのままになっている。今回の質疑応答を含めて文書化し全て公表してほしい。市民は、それをみて判断すればよい。</b></p> <p>〈小坂地区公民館会場〉</p>	<p>【エコバレー推進課・水道課】</p> <p>豊岡中核工業団地については、もともと上水道より低廉な工業用水道を県が設置するという条件で、豊岡市が企業誘致を行っていましたが、工業用水道の大幅な需要が見込めないことから設置が見送られ、市が上水道で給水することとなりました。そのような経緯から、立地企業に対して約束を守るため市の政策として、一般より低廉な料金設定としているものであり、期限を区切るべきものではないと考えています。</p> <p>なお、改めてこの件だけを広報する考えはありません。</p>
<p><b>財産区の温泉には市から相当な水道料金の補助金が出されているので、城崎町民の入浴料金が違うことを公表すべきだ。</b></p> <p>〈小坂地区公民館会場〉</p>	<p>【城崎振興局 城崎温泉課】</p> <p>旧城崎町において水道資産が湯島財産区から城崎町に無償譲渡されたこと、また、外湯が地域住民の日常生活において保健衛生上必要な公衆浴場としての役割を果たしていることから外湯に係る水道料金の従量料金は、1㎡当り129.6円に設定されています。（公衆浴場は、70.2円）</p> <p>その水道料金の減額相当額（平成27年度は9,765千円）を豊岡市が一般会計から水道事業会計へ繰出しされています。したがって、豊岡市が湯島財産区に補助金を交付しているわけではありません。</p> <p>旧城崎町民の入浴料金は、温泉資源の保護に住民が協力してきたことや住民福祉の一環として、原則として大人100円、子ども50円、69歳以上の方は無料としているもので、条例にも規定し、外湯の窓口にも表示する等の公表を行っているところです。このため、これについて特別に広報する考えはありません。</p>



城崎温泉街

## 投票所について

質 問 内 容	回 答 内 容
<p><b>参議院選挙もあったが、独居高齢者からは投票所が遠くていけないと聞く。90歳でも国民だ。同じサービスを受ける権利もある。マイクロバスを巡回させるとか代替手段を考えて欲しい。</b></p> <p>〈竹野庁舎会場〉</p>	<p>【選挙管理委員会事務局（総務課）】</p> <p>投票区については合併協議において、合併後に総合的な見直しを検討することとされ、選挙管理委員会での協議・地域での説明会などを経て、平成24年に再編を行いました。</p> <p>この際、投票所までの距離は3kmを基準に設定しましたが、従前の投票所より遠くなる地域については、公共交通機関の活用や、共助などによる対応をお願いしております。</p>

## スポーツ施設について

質 問 内 容	回 答 内 容
<p><b>竹野公園のテニスコート等、無くなるのはもったいない。どうしようもないのか。</b>          〈竹野庁舎会場〉</p>	<p>【スポーツ振興課】          現在、テニスコート等を廃止する計画はありません。ただ、過去3年間のテニスコートの利用状況は、年平均20回程度と、月に2回程度の利用にとどまっている状況です。今後も多くの利用は見込まれないことから、大規模な改修は考えておりません。</p> <p>また、テニスコートは、公設施設だけでもこのほかに6カ所あり、市全体で見れば、充足していると考えております。</p> <p>なお、竹野地域には、他に休暇村竹野海岸に全天候型テニスコート2面があります。</p>
<p><b>豊岡市には屋根付きのスポーツ施設がないが、整備の必要性についてどう認識しているか。</b>          〈八条地区公民館会場〉</p>	<p>【スポーツ振興課】          市内には、全但バス但馬ドーム、竹野多目的屋内運動場、出石多目的屋内運動場、但東健康増進センター（シルクドーム）の4カ所の屋根を有したスポーツ施設（健康増進施設を含む）があります。市全体の施設数やそれぞれの利用状況を考慮すると、新たに整備する必要はないと考えております。</p>

## 原発について

質 問 内 容	回 答 内 容
<p><b>高橋地区は、豊岡市の中で福井県高浜原発から最も至近距離にあるにもかかわらず、事故等の取組みがおざなりであり、篠山市など他地域の意識の方が高いと感じる。もっと、真剣に取り組んでいただきたい。（対象地域、線量測定、避難方法など）</b>          〈高橋地区公民館会場〉</p>	<p>【防災課】          本市は、福井県の高浜原子力発電所から、但東地域の東端まで約40kmの位置にあり、国が定めた原子力災害対策重点区域（原子力発電所から概ね半径30km）の対象外となっております。また、兵庫県が行った放射性物質拡散シミュレーションにおいても、避難対象地域にはなっておりません。</p> <p>それゆえ、関西広域連合からは、原子力災害発生時は、原子力発電所から概ね半径30km圏内の住民を受け入れると位置づけられており、具体的には、福井県小浜市遠敷地区の約3,200人の住民の受入先となっております。</p> <p>本市の立地条件において、最も現実的な原子力災害対策は、事故後、速やかに屋内退避することであり、そのため、事故の一報が入ったときは、防災行政無線及びひょうご防災ネット等で市民に適宜情報を提供いたします。</p> <p>放射線の拡散状況については、原子力規制委員会の「放射線モニタリング情報」や京都府の「環境放射線監視テレメータシステム」等により監視が可能であり、これらは一般公開されております。</p> <p>なお、安定ヨウ素剤は劇薬指定されており、副作用の心配があるため、原子力災害のリスクが著しく高い地域において配備されるものと考えております。このため、本市において備蓄する考えはありません。兵庫県においても、同様の理由により、安定ヨウ素剤の備蓄を見送っていると聞いております。</p>



豊岡市地域防災計画